

進路だより

【保護者進路セミナー】

7月21日(水)に保護者進路セミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、場所を2会場準備し、感染症対策を講じて実施に至りました。

本校体育館では、会津若松市役所障がい課の渡部芳博様、五ノ井一貴様を講師として『障がい者の福祉とサービス～サービス内容や利用方法について～』をテーマに講演していただきました。



渡部芳博様からは、会津若松市のサービスの相談・申請・利用までの流れ、障がい福祉サービスの種類と事業所数、サービス内容(居住系サービス、相談系サービス、訪問系サービス、日中活動系サービス)等について講演していただきました。

五ノ井一貴様からは、特別支援学校卒業後の障がいサービスの利用に向けて、その特性や能力を活かすことのできる最も適切な「働く場」を選択できるようにするために、就労移行支援事業所等が面談や作業観察によるアセスメントを行うことで、支援対象者の就労面の情報(作業能力、就労意欲、集中力等)を把握し、サービス利用までにどのような流れになるのか等について講演していただきました。

どちらの講演も、とても丁寧に説明していただき、分かりやすい講演であったという多数の感想をいただき、実りあるセミナーとなりました。



本校会議室では『在学中の実習先や将来の進路について』をテーマに、本校進路指導主事より話をしました。高等部の実習先の写真や様々な事業所の写真を見ながら具体的な活動・作業内容等を一つ一つ確認したり、卒業後の進路先の選択肢を確認したりしました。

「写真が多くわかりやすかった。」「サービス系の内容や場所等についてもっと知りたい。」という感想や御意見をいただきました。

夏季休業中でもあり、仕事やお子様の預け先などの調整が難しかったと思います。参加していただき本当にありがとうございました。



【高等部第一回事業所の話を聞く会】

7月5日に事業所の方を講師にお招きし、第一回事業所の方の話を聞く会が行われました。



会津障害者就業・生活支援センターふろんていあの方からは、一般就労を目指す生徒に向けて、事業内容や働くために必要な力、職場で定着していく方法など、事例を含めながら御指導いただきました。

あいの里、ステップボードの方からは、B型事業所等の就労を考えている生徒向けに、各事業所の作業内容や日課、行事、事業所の一員になるために必要なことを、分かりやすくお話をいただきました。

生徒から「働くことに対して気持ちが高まった」などの感想があり、実りある講演会となりました。

【高等部 第Ⅱ期 産業現場等における実習】

9月6日(月)～17日(金)の10日間、高等部3年生を対象に産業現場等における実習を実施しました。

一般事業所10名、B型事業所11名、生活介護事業所6名、計27名の生徒が外部に出て実習を行うことができました。また同時期に就労継続支援 B 型利用に係るアセスメントを2名の生徒が実施しました。I期と同様に新型コロナウイルス感染症の拡大の影響があり、福島県の非常事態宣言の延長が決定した時期でもありましたが、「生徒たちの学びをできる限り保障していきたい」との学校の考えに多くの事業所の共感と御協力をいただきまして無事実施することができました。たくさんの方々の応援によって、実習が成り立っていることを改めて感じております。

体調管理等に十分注意していただいたためか、実習中に体調不良になる生徒はほとんどいませんでした。しかし進路先がより具体的になり、それぞれの課題がより明らかにされ、今後の学習や生活の中で努力することが示された生徒たちもいました。

この後第Ⅲ期(全学年対象)の実習があります。さらに生徒一人一人が自己を磨き、希望進路の実現ができるように支援を継続していきたいと思っておりますので、今後とも保護者の皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。



生活介護事業所
Mamiya つどいの家



就労継続支援 B 型事業所
あいの里



就労継続支援 B 型事業所
フォルテ



一般事業所
COOP BESTA あいおい

●保護者の皆様から以前いただいた進路に関する質問についてお答えします●

Q1 卒業後の支援についてどのようなものがあるのか知りたいです。

A.アフターケアとして、定期巡回指導があります。卒業後2年までは、年2回程度の定期巡回や家庭への訪問、電話などで状況の確認を行い、本人や進路先から話を聞きながら状況の確認を行います。卒業時の担任・担当または進路指導部が行います。

Q2 今からどんなことを準備したらよいでしょう。

A.日常のあいさつやマナー、身だしなみは「習慣」として身に付けていくもので、家庭でしっかりと定着させる必要があります。特に衛生面に関することは就労先でも一番に求められるところです。日常生活に必要な身辺処理については、徐々に一人でできるようにしていきましょう。



Q3 自分の子どもに合った進路先や、就労先の選び方などを教えてほしいです。

A. どの進路先を選択した場合でも、基本的な生活習慣(例:着替え、身だしなみ、あいさつ等)を身に付けることは必要です。少しずつ自分でできることを増やして、自立に向けた意識を高めましょう。進路先や就労先の選び方としては、「進路の手引き」を参考にして、実際に事業所に見学に行ってみるのもよいと思います。また、中学部や高等部で実施している、就業・生活体験学習や産業現場等における実習を通して、進路先を検討する方法もあります。進路に関して知りたいことや不安なことがありましたら、遠慮なく学級担任を通して進路指導部へ御相談ください。